

各位

上場会社名 山下医科器械株式会社
代表者 代表取締役社長 山下 尚登
(コード番号 3022)
問合せ先責任者 取締役執行役員管理本部長 伊藤 秀憲
(TEL 092-726-8200)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成28年7月11日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成29年5月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成28年6月1日～平成28年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	26,000	148	178	92	36.84
今回修正予想(B)	24,339	6	34	8	3.59
増減額(B-A)	△1,660	△141	△144	△83	
増減率(%)	△6.4	△95.3	△80.9	△90.3	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成28年5月期第2四半期)	24,523	193	223	134	52.90

平成29年5月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成28年6月1日～平成28年11月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	25,948	192	105	42.08
今回修正予想(B)	24,200	20	4	1.74
増減額(B-A)	△1,747	△172	△101	
増減率(%)	△6.7	△89.5	△95.9	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成28年5月期第2四半期)	24,392	243	150	59.19

修正の理由

本年度第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、一般消耗品分野、低侵襲治療分野、及び専門分野においてはほぼ期初計画通りに推移しております。しかしながら、大型の設備案件が減少していることから、一般機器分野における手術室関連機器等の医療機器備品や、画像診断機器等の売上が期初予想を下回っており、その結果、全体の売上高が第2四半期における期初予想を下回る見込みとなりました。

また、利益面におきましても、上記売上の減少に伴う売上総利益の減少により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益ともに第2四半期における期初予想を下回る見込みとなりました。

なお、年度の後半には機器需要の回復が見込まれることや、低侵襲治療分野における内視鏡備品等の売上が引き続き堅調に推移する見込みであることなどから、通期における業績見通しについては、現時点で変更ありません。

※上記業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上